

包括連携契約についての概要説明

大阪大学副学長・研究担当理事

八木 康史



産学連携の
第3ステージ

阪大モデルの新しい産学連携 = **産学共創**

- アプローチ ① 基礎研究段階からの包括的な産学連携
アプローチ ② 産学協働のイノベーション人材育成

第2ステージ

大学発シーズベースの共同研究の組織的展開

日本初

共同研究講座 開設 ... 実績 32
協働研究所 設置 ... 実績 10

(寄附講座 開設 ... 実績 46)

平成28年4月1日現在

第1ステージ

技術相談・個別の共同研究

基礎研究段階からの包括的な産学連携

寄附支援

包括連携

民間との
共同研究
受託研究

研究成果の開示

新たな共同研究への展開

知的財産の活用

World Premier International Research Center (WPI) Initiative

我が国に9拠点設立。免疫学国際拠点として大阪大学免疫学フロンティア研究センター設置

4つのミッション

Science

世界トップレベルの研究水準

Globalization

国際的研究環境の構築

Fusion

融合研究分野の創出

Reform

研究組織改革



大阪大学 免疫学フロンティア研究センター

Immunology Frontier Research Center (IFReC)

世界的な免疫学者、審良静男教授を拠点長とした、世界トップクラスの研究機関。
制御性T細胞の発見者坂口志文教授ら180名の研究者が在籍し、世界の免疫学を先導する。
2017年度よりWPI支援は新しいステージへ移行。

基礎研究

応用研究

大阪大学

文部科学省

(競争的)
外部資金

IFReC
研究者

シーズ研究

個別共同研究

企業A

個別共同研究

企業B

個別共同研究

企業C

基礎研究



従来の産学連携

基礎研究

応用研究

大阪大学

文部科学省

(競争的)
外部資金

潤沢な研究資金による
基礎研究の推進

中外製薬

IFReC
研究者

基礎研究

シーズ研究

第一選択権

研究成果の開示

基礎研究段階での包括連携

個別共同研究

企業A

個別共同研究

企業B

個別共同研究

中外製薬

個別共同研究

中外製薬

応用研究への
シームレスな産学連携

産学共創

IFReCとの包括連携の概要について

中外製薬株式会社
取締役上席執行役員
田中 裕

2016年5月19日

創薬等医療技術研究開発の世界的潮流

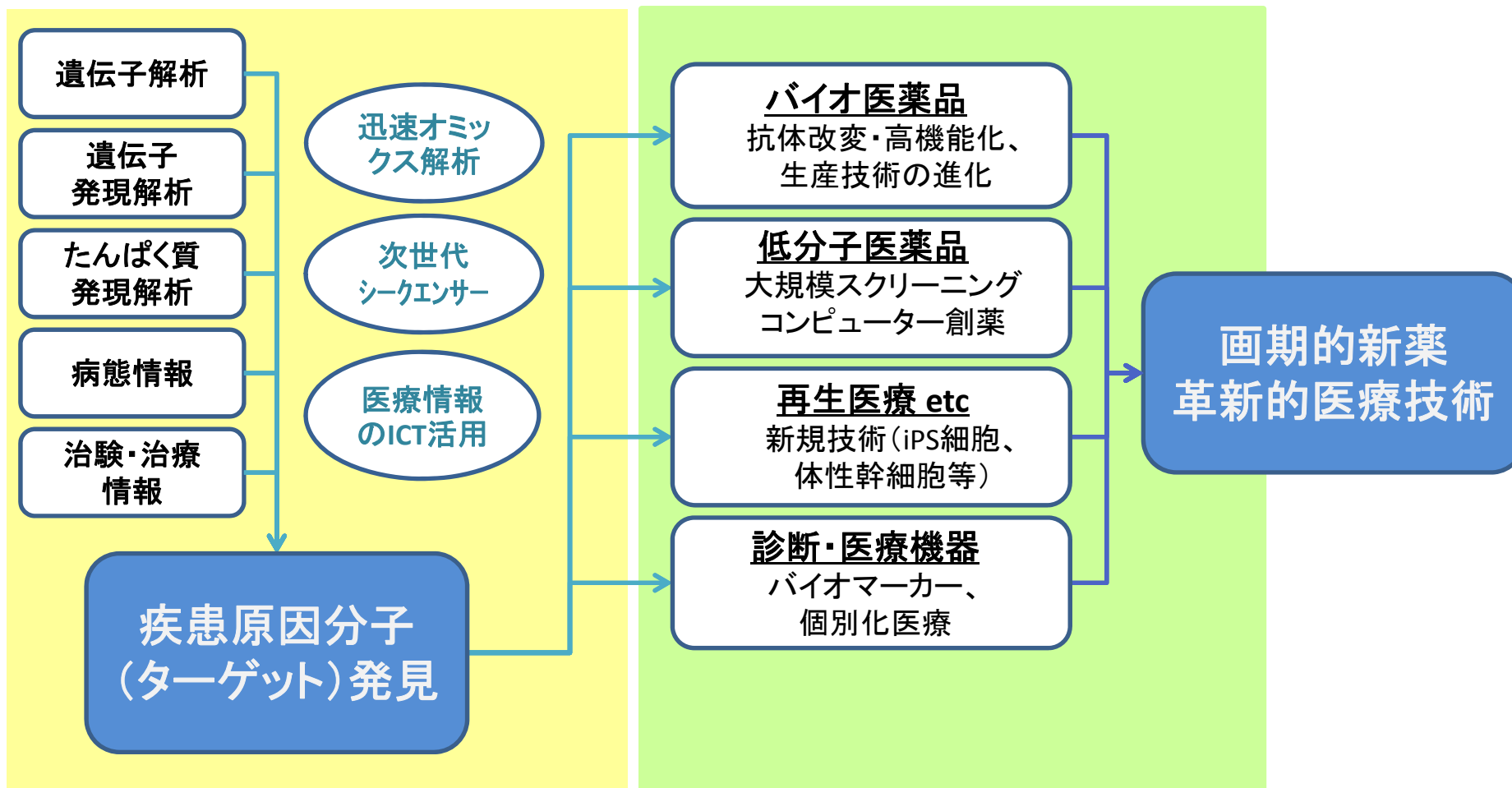
すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

疾病メカニズム解明進展

創薬等医療技術の高度化



IFReCと中外の包括連携がもたらす価値

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

～IFReC最先端の免疫学と中外創薬技術の融合から生まれるイノベーション～



免疫異常を伴う疾患の病態メカニズムの理解
革新的な新規標的分子の同定

世界の免疫学を牽引

画期的新薬の創出

IFReC・中外包括連携のスキーム

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

～IFReCの自主的基礎研究段階から連携する新しい産学連携～

